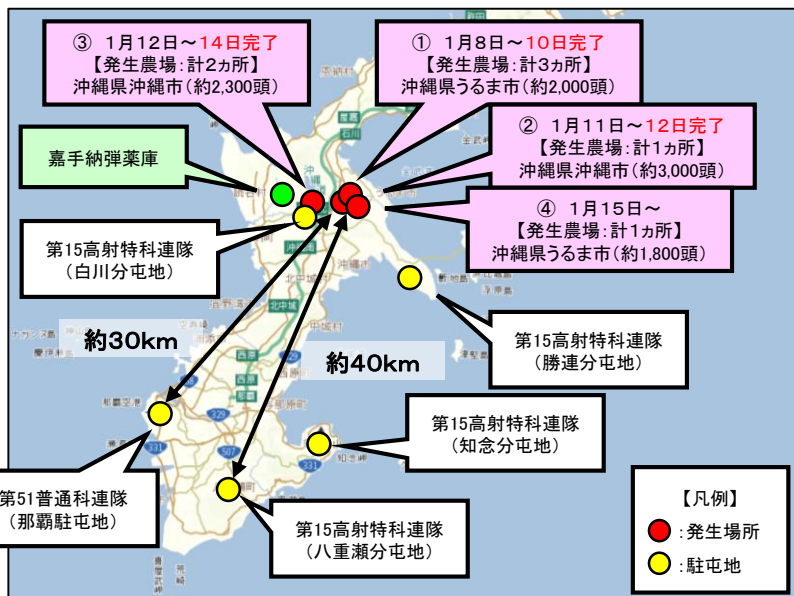


概要	○ 1月7日（火） 沖縄県うるま市に所在する養豚農場3カ所においてCSF（豚コレラ）の疑い発生。 （沖縄県におけるCSFの発生は33年ぶりであり、同県におけるCSFに係る災害派遣は初めて）
	○ 1月8日（水）0940 沖縄県知事から陸上自衛隊第15旅団長（那覇駐屯地）に対し、殺処分等の支援に係る災害派遣要請。 ○ 1月8日（水）1202 現地において豚の殺処分等の支援を開始。 ○ 1月10日（金）・11日（土） 沖縄市に所在する養豚農場計3カ所においてCSFの陽性判定あり。 ○ 1月11日（土） 米空軍嘉手納弾薬庫地区（知花地区。沖縄市所有地）を沖縄市で処分された豚の埋却地として使用することについて、米空軍（第18航空団）が承諾。実際の使用については、現在、沖縄県が検討中。 ○ 1月15日（水） うるま市に所在する養豚農場1カ所（約1,800頭）においてCSFの陽性判定あり。殺処分等の支援を実施予定。
活動部隊	○ 陸自第15高射特科連隊（八重瀬、勝連、白川、知念 各分屯地）、第51普通科連隊（那覇駐屯地）
活動態勢	○ 8コ小隊でローテーションし、6時間交代の24時間態勢で活動。（1コ小隊約35名、全体で約340名態勢（本部要員等を含む。））
処分数	①～③ うるま市（3農場）・沖縄市（3農場） 処分頭数 約7,300頭（14日殺処分完了、消毒支援中） ④ うるま市（1農場） 飼育頭数 約1,800頭 【合計 約7,300頭 / 約9,100頭】
活動内容	① 豚舎内における豚の追い込み作業など ② 殺処分した豚の運搬支援 ③ 養豚場における消毒支援

※ 自治体と共同で作業
※ 丸数字は、下記の地図の農場を表示。



【参考1】CSFに係る災害派遣における活動地域（平成30年12月～）

- ・岐阜県（関市、各務原市、恵那市、瑞浪市、山県市）
- ・愛知県（豊田市、田原市、瀬戸市、西尾市）
- ・三重県（いなべ市） ・長野県（宮田村）

【参考2】沖縄県沖縄市におけるCSFに係る災害派遣の様子

